



保健だより

平成 30 年 9 月号 (第 411 号)

発行 那覇市こどもみらい課 ☎ 098-861-6903

まだまだ残暑が続きますが、朝夕はなんとなく風に涼しさを感じるようになりましたね。暑い夏を楽しんだ子どもたちにもそろそろ疲れが出やすくなる時期です。体調管理に気をつけて、残暑を乗り切り元気に過ごしていきましょう。

9月9日は救急の日。

どんなに気をつけても、子どもの予測のつかない行動にヒヤッとさせられることがあります。普段からケガにつながらない備えを心がけましょう。

お家の中にも事故やけがを招く危険なものがたくさんあります。

家庭内で起こりやすい事故として誤飲があります。タバコの吸殻・電池薬など危険な物は子どもの手の届かない場所に保管することが基本です。また、お風呂での溺水も多く、バスタブに水を溜めないようにするか浴室には鍵をかけるなどの対策が必要です。子どもはあっという間に大きくなり、歩き始め、走り、よじ登り、飛び上がり、全ての物に興味をもつようになります。この頃は一生のうちでも最もケガの多い時期です。しかし、まだ自分で身を守ることはできませんから、保護者がいつも事故が起こり得ることを忘れずに、子どもを事故から守りましょう。

★子どもの手の届く場所に置いてはいけない物

薬、洗剤、たばこ、ライター、ポット、炊飯器、包丁などの刃物、針
子どもが飲み込める大きさの細かい物など

★踏み台になるものをベランダに置かない。

★コンセントなどをいたずらできないようにカバーをする。

★食事中は食べ物が喉に詰まらないように注意する。

★浴室には子どもだけで勝手に入れないように工夫する。



こんなときどうする？ すり傷、切り傷・とげの対応

すり傷の応急手当て

- ①強くこすらないように注意し、傷口の泥や砂を水道の流れる水でよく洗い流す。
- ②出血があれば、清潔なガーゼを厚めに重ね、血の出ている部分を少し強く押し止血する。
- ③傷口は乾燥させない

こんな時は病院へ

- ★顔の深いすり傷
- ★すり傷の他に打撲もある
- ★感染症が心配
- ★土や石、ガラスが傷口に入って取れない
- ★いつまでも痛がる

切り傷の応急手当て

傷口を流水で洗って消毒し、清潔なガーゼを当てて止血。血が止まったら、絆創膏などで保護。

こんな時は病院へ

- ★頭や目の近くを切った
- ★傷口がズグクしている
- ★ガラスや釘が刺さっている
- ★激しく痛がる

！こんな時は救急車を

- ★ぱっくり開いた深い傷や出血が多いとき
- ★頭部や腹部の切り傷、刺し傷

とげの応急手当て

とげの先が出ている
毛抜きなどで抜き、消毒をしてから絆創膏を。

とげの先が出てない
熱消毒した針やピンセットで、皮膚をほぐしながら刺さったものを取る。その後、傷の周囲を押し血を絞り出し、血といっしょに汚れを出す。最後に消毒して絆創膏を。

乳幼児健診の予定 (9月) ※健診会場が那覇市保健所に変更されました。ご注意ください。

★お遠い合わせ先 那覇市地域保健課 ☎ 098-853-7962

◇乳児健診 【対象：満6か月未満児、1歳未満児】・・・9/2(日)・16(日)・30(日)

◇1歳6か月児健診【対象：1歳8か月頃の児】・・・9/6(木)・13(木)・20(木)

◇3歳児健診【対象：3歳6か月頃の児】・・・9/4(火)・11(火)・18(火)・25(火)

(3歳児健診は目と耳の事前検査を忘れずに！ 健診当日の順番が後回しになりますよ。)